

チューリッヒ日本人学校

# 学校だより

2009年12月18日

10.11.12月号 NO6 JAPANISCHE SCHULE IN ZÜRICH

発行責任者 島田清人

## 実りの二学期

### 感謝し、新しい年へ

今年も残り二週間となりました。長丁場であった2学期も無事に終わろうとしております。この間、新型インフルエンザの流行等予期せぬことが多々ありましたが、保護者の皆様方をはじめ学校を支えてくださった多くの方々のお陰で、ここまでたどり着くことができましたことを心より感謝申し上げます。

二学期を振り返ってみますと、自分の目標に向かって最後まで頑張る心を学んだマラソン大会(9月) 大道具・小道具作りから、みんなで力を合わせ創り上げた学習発表会(10月) 自分を大切にすること、他人を大切にすることを学んだ「人権を考える週間」(12月) その他 講話会、ピュント校・クレメアッカー校との交流、進路学習会・職場体験学習、児童生徒会主催の集会活動や遊び・ゲーム、学校農園での収穫作業等のたくさんの行事や活動の場がありました。

心も体も成長した実り豊かな二学期ではなかったかと思えます。

\* 12月のはじめ、ウスターの市役所前広場に大勢の子ども達が集まってきました。子ども達は、赤いマントの聖ニコラウスと黒

の衣装をまとったシュムツツリ(昔は言うことを聞かない悪い子をお仕置きするためにムチを持っていたようです)からお菓子をもらっておりました。聖ニコラウスの「詩?」をみんなの前で朗読したご褒美に、メインの聖ニコラウスからプレゼントをもらっていた子もおりました。

子ども達は、この聖ニコラウスの日を楽しみにしているようですね。

街には、クリスマスのためのイルミネーションがきれいに飾られ、郵便局の前には今年も樅の木が運ばれてきました。先日は、ウスターの駅前通りにクリスマスの市が立ち、露店には色とりどりのクリスマス用品が並び、マルクトにやってきた人たちが足を止めていました。

この時期は気持ちが暗くなりがちですが、祭りは明るくうきうきした楽しい気持ち



にさせていただきます。

こちらでは、クリスマスが最も重要な行事として、生活の一部になっていることを改めて感じました。

学校の廊下には、小学部1・2年生がきれいに飾ったクリスマスツリーが置かれ、皆を楽しみ気持ちにさせてくれています。



## 人権を考える週間

人権に関する世界宣言が1948年12月10日の国連総会で採択されたのを記念して、12月10日を「人権デー」と定め、すべての国連加盟国に対して人権思想の啓発のための行事を実施するよう呼びかけております。

本校では、11月30日から12月4日までを人権週間として、全校集会での話、学年毎の「人権」を考える授業を行いました。そして、そのまとめとして人権学習交流会（全校）で発表し、お互いに学習を深め合いました。また、一人ひとりが人権学習で学んだことを「ふれあい標語」にしました。職員室前の廊下に全員の標語を展示してあります。

### <各学年の学習内容（ねらい）>

小1・2年：自分を支える自信の三本足（がんばり、やさしさ、せきにん）ことばの使い方、心のろうそく等をテーマに自他の大切さを学ぶ。

小3・4年：身近な教材を通して、ルールを守ることが他人を思いやることにつながることやルールを守らない人がいたら勇気を持って注意をすることが、楽しく過ごすことにつながることを学ぶ。

小5・6年：戦争について知り、なぜ人が争うのかを考え、自分なりに平和について意見を持つこと。また日常生活の争いと平和についても目を向けさせる。

中2年：お互いを認め尊重しあえる人間関係づくり、仲間作りの意識を高めること。また、授業や行事などの振り返りを通して、相手の立場を考えて活動する必要性と、それらの活動を通して自信と信頼が高まっていくことを考える。

中3年：「本当の自信をめざして」を課題として、「自信」についての定義を知り、自分に対して正しい「自信」を持てるようにする。

### <ふれあい標語>

「ともだちはけんかもするけど なかまだよ」(小1)

「たくさんの みんなのいいところ すてきだな」(小3)

「ちがっても みんな同じの人類だ」(小5)

「世の中に 希望あふれる この時代 平等社会 夢物語」  
(中2)

「かばんに 自信 入れましたか」(中3)

～感想～

「争いは、すぐにあいつが悪いとかこいつは悪くないと決めら



れないものだとよく分かりました。相手の気持ちを考えて行動すれば、傍観者もけんかをやめようと行動できるし、そもそもけんかがおこらないと思います。だからこれからは、相手のことを考えて暴力ではない解決方法を使っていきたいです。(小学部高学年) 共に感じ、ひびき合える学校にしたいと思います。

## 交流学習

### ～ピュント校・クレメアッカー校との交流～

#### 小1・2年

11月18日(水)2・3校時にピュント校の2年生21名が来校しました。今回は6月に訪問した時に、「親切にしてもらった」「あたたかさやほっとした」という気持ちを忘れずに、今度はそのお返しをしたいという思いで、朝の時間を使ってドイツ語の練習などもし、準備を重ねてきました。交流では、日本の遊びの紹介(コマ、福笑い、折り紙)、クラス遊び(しっぽとり)、そして玉入れ対抗戦を実施しました。

#### <お礼のカード>

・「ねえ、みんな、日本のあそび難しかった？ 折り紙とコマ、とくに難しかったですよ。鶴、けっこうやっこしいでしょ。私たちもう友達だよ。また会おうね。楽しみにしているよ。ユリアン、ショウタ、サムエルの名前覚えているよ。」

・「楽しかったよ。玉入れとしっぽとりを楽しんでくれてありがとう。また遊ぼうね。またしっぽとりとかしようね。折り紙の作り方を忘れないでね。玉入れで、こちらが勝ったけど、拍手してくれてありがとう。」



#### 小3・4年 と 小5・6年

11月17日(火)に小学3・4年生と5・6年生がピュント校の4年生と交流しました。3・4年生は、ドイツ語を使って、漢字の成り立ちを説明した後、漢字の練習をしました。見よう見まねで一生懸命書いていました。

5・6年生は、「太鼓ワークショップ」。日本の文化を伝えるため、休み時間にも自主的に練習をして、本番に臨みました。ドイツ語で相手に一生懸命教えたり、身振りや手振りを交えて何とか相手に伝えようと工夫している姿もありました。日本の文化に少しでも興味を持ってもらえたらという願いが通じたようです。間の休み時間には、一緒に鬼ごっこ(火水木)で遊びました。



#### <子どもの作文より>

「太鼓ワークショップが初めての人にどういうふうにするのが分かりやすく伝える努力できた。太鼓をたたくときの声を一生懸命出した。太鼓が不安な人にうまくなっても

らうため、人に見られても大丈夫なようにしっかり練習した。」

12月17日(木)に中学部はクレメアッカー校と交流学习をしました。体を動かすゲームやスポーツを通して、ドイツ語で説明したり、コミュニケーションをしたりすることをねらいとした交流でした。自分から積極的に話しかける姿が見られました。

## 第2回講話会

今回は、スイスで活躍されている創作舞踏家の松田扶美さんをお招きして講話会が行われました。はじめに舞踏家としての仕事とそのやりがいなどを簡単に説明していただき、その後 実際に創作舞踊の基礎を学びました。椅子を使い、身体で「自分」を表現しました。最初は戸惑っていた子ども達も、心のかたさから開放されるに従って、自由にのびのびと自分を表現するようになりました。

松田さんが最後に述べられた「人間ですから、誰でもが弱さを持っています。でも、自分だけ持っている得意なことや好きなことも必ずあります。それを見つけて頑張れるとすごいです。みなさんも是非見つけて欲しいです。」という言葉から、松田さんには大好きなダンス(踊ること)があったからこそ、これを心の支え・生きる支えとして、幾多の苦難を乗り越えてこられたのだらうと思いました。

自分を表現することの楽しさを学んだ講話会でした。

～感想～

「今日はこうわ会がありました。わたしはおもしろい動きをして楽しいなと思いました。ふつうのスポーツも好きだけれどこういったかわったスポーツもいいと思いました。」(小3)

「今日やった『ich 私(僕)』でどうやったらもっとうまく表現できるのだらうと考えながら、寝ている私などのポーズをとりました。その時、松田さんが見せてくれたポーズはとてもリアルで分かりやすかったので、やはりプロは違うなと思いました。今まで舞踊など全く縁がなかったけれど、少し興味がわいてきました。」(小6)



## 学習発表会

一学期から準備をはじめた学習発表会が、10月17日(土)に行われました。一週間前に舞台(ステージ)が組み立てられ本格的な練習が始まりました。

小学校1年生から中学3年生まで学年が異なる児童生徒がいっしょに一つの目標に向かって、みんなで創り上げていくということは大変な作業です。

はじめ合わなかった歌や太鼓演奏でしたが、子ども達は自主的に練習を始め、最後には歌声や太鼓がだんだんときれいにひびき合うようになりました。

練習を積み重ねる子ども達の姿から、「真剣さ」「やる気」が伝わってきました。

教職員と一緒にあって、限られた時間の中で、準備や練習に頑張ってきた学習発表会でした。

## ＜各学年の出し物＞

小学 1 年生のかわいいオープニングセレモニーからはじまりました。

小学部 1・2 年は「ゆうづる ～つるのおんがえし～」(劇)

小学部 3・4・5・6 年は「王様のひげ」(劇)

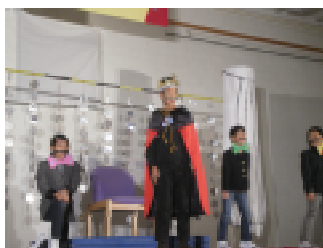
中学部 2 年は「自由の中でステップアップ」(表現)

中学部 3 年は「うーん、どうしよう」～勝つために何が必要か～ (表現)

最後に全校児童生徒による音楽発表をしました。和太鼓発表では、オープニングの組太鼓(代表)、三宅太鼓(小学部低学年)、JS 太鼓(小学部高学年及び中学部 4 名)、秩父太鼓(中学部)。合唱・合奏では、スイス民謡(ホルディリディア)と「君をのせて」(『天空の城ラピュタ』より)、そして「やさしさに包まれたなら」(『魔女の宅急便』より)を発表しました。

日頃の練習の成果を十分発揮して、一人ひとり自信を持って堂々と発表できたように思います。

来賓の皆様、保護者や参観者の皆様からは、大きな拍手やあたたかい励ましのお言葉を賜りありがとうございました。また、終了後 今年も参観者の方には片付けの手伝いをしていただき、お礼申し上げます。



## ～児童生徒の感想～

「A くん、『そうど』がんばったね。B くんも『うんず』、おもしろかったよ。ぼくも『そうど』がんばったよ。ぼく、よかったよ。」(小 1)

「僕は、この学習発表会の取り組みを通して、みんなの気持ち、思いが一つになったと思います。そして僕は当日のハプニングもあったけれど、観客からの支えがあり無事に達成・終わることができたので、すごく嬉しいです。来年は僕が最高学年で、最後の発表になるので、A 君や卒業していった先輩の発表を参考にしながら、最高の発表を作っ

ていきたいと思います。今年は全体的にも最高の学習発表会でした。」(中2)

### ～参観者の感想～

「一生懸命練習して迎えた当日の発表は、どれも素晴らしく、頑張って練習してきた姿が目に見え感動しました。一人ももれなく参加し、多くの役割を担う姿は、小規模校ならではの事、子供達にとってまた一つ貴重な体験が出来たなと感謝しております。」  
「全員が主役の発表会だと感じました。短い限られた時間で個々が精一杯努力したのだろうという気がしました。みんなが輝いて見えました。」

## 保護者ボランティア

今学期も、学校ボランティア(図書室運営・読書指導,校舎内外の環境整備:校庭の草刈り・校舎内の掲示物作成等)の皆様の助力を惜しまない活動に対し感謝申し上げます

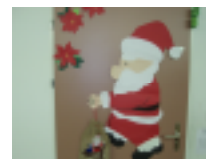
JS委員会活動(小4以上の委員会活動)の12月の取り組みの中で、図書館ボランティアで実施したような掲示方法を参考にした人気本コーナーが設置されました。

貸し出しカードによる人気NO1は「卑弥呼」、NO2「もしかしたら 名探偵」、NO3「三国志」でした。

おすすめ本コーナー



人気本コーナー



クリスマスの装飾絵とサンタさん

### < 1月の行事 >

日	曜	行事	日	曜	行事
4	月	3学期始業式 職員会	14	木	スケート教室(小1・2)~15日
5	火	中1・2年実力テスト(~6日) 身体測定	17	日	学力テスト(小4以上希望者)
11	月	校長子ども面談(~29)	18	月	校内書道展(~29日)
12	火	安全点検	22	金	全校集会(カルタ・百人一首大会)
13	水	スキー教室(小3~)~15日	24	日	英検1次

今年もあとわずかになりました。皆様、良い年をお迎えください。